

平成 30 年度 事業所における自己評価結果 (公表)

【児童発達支援】

公表 平成 31 年 3 月 1 日

事業所名 くろかみ学園児童発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	22	1	空いている部屋や空間を利用し、活動スペースが確保できるようにしています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	22	1	お子様 2～3 名に対し 1 名の職員を配置しています。(基準ではお子様 4 名に職員 1 名) お子様の状態によっては、1 対 1 の個別の支援を行っています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	21	2	生活空間は構造化し、お子様の特性に合わせた環境設定を行っています。	車椅子に乗っているお子様が手洗いしやすい洗面所があれば良い。 全ての水道水から温水が出ると良い。(一部のみ温水対応)
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	2	毎日、塩素系消毒液で清掃し清潔な生活環境作りをしています。活動に合わせて、空間を確保するよう工夫しています。	中庭の人工芝が劣化しているので、交換して欲しい。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	22	1	職員で話し合い業務改善、問題解決をするよう心掛けています。	業務の見直しを積極的に行い、保護者様が相談できる時間を確保できるようにします。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	23	0	保護者様の意向を把握し、業務改善につなげるよう心掛けています。	保護者様の評価や意向から、改善できる点は取り組んでいきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	23	0	保護者様には紙面にて 3 月にお知らせ致します。法人のホームページにも掲載致します。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	23	第三者による外部評価は行っておりません。	法人の方針により 3 年後導入予定です。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	23	0	資質の向上の為に研修会には積極的に参加しています。 研修会参加 年間 64 回、延べ参加者数 77 名 (平成 30 年度実績見込み)	職員の支援技術が向上できるよう、外部研修の活用や施設内での職員同士の話し合いの機会を設定します。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	23	0	ご本人様、保護者様のニーズをアセスメント表や面談等で聞き取り、課題に合った計画を作成するよう心掛けています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	23	0	標準化されたアセスメントツールを使用し、お子様の適応行動の状況を図っています。	

適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23	0	今年度より、児童発達支援のガイドライン項目より支援内容を設定しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21	2	各クラスで児童発達支援計画の内容を把握し、支援を実施しています。	チームへの周知ができていないことがあります。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	19	4	各クラスで話し合い、活動内容を決定しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	23	0	各クラスで話し合い、固定化されないよう工夫しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで、お子様の状況に応じた支援を実施しているか	22	1	個別活動、集団活動を適宜組み合わせることで、お子様の状況に応じた支援を実施しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	22	1	引継ぎを複数回行い、その日に出勤する職員で支援内容や役割分担を確認しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	17	6	送迎や放課後デイの受入れの関係で、毎日振り返りをする時間は確保できていません。クラス会議で毎月の支援についての話し合いは行っています。	課題が発生した時には、早急にクラスの職員で話し合いの時間を確保し、支援の方法を決めていきます。
	⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	22	1	日誌に支援の記録を取り、支援の検証・改善につなげています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	22	1	半年に1回モニタリングを行い、計画の見直しが必要か複数の職員で判断しています。	
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	23	0	会議が開催された時は、お子様の状況に精通した職員が出席しています。
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	22	1	必要に応じて、市町の保健師の方や計画相談事業所と連携して家族支援等を実施するよう心掛けています。	
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	18	5	医療的ケアが必要なお子様の支援では、保護者様を通じて行っています。医療ケア児は、看護師が中心となって支援しています。	必要に応じて、関係機関との連携を図ります。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	21	2	直接、お子様の主治医と連絡を取ることはありません。保護者様を通じて行っています。必要に応じて看護師が必要な医療ケアの確認を行っています。	医療ケア児の緊急時の対応等については、個別のマニュアルを整備するなどして対応します。

	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	20	3	必要に応じて、支援内容等の情報共有と相互理解を図るよう心掛けています。	保護者様から要望があった場合は、移行がスムーズに行えるよう情報共有と相互理解を図ります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	18	5	保護者様や移行先（小学校等）からの要望があった場合にのみ移行支援を実施しています。	保護者様から要望があった場合は、移行がスムーズに行えるよう情報共有と相互理解を図ります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	14	9	県の療育支援センターが主催する研修会等には参加しています。	専門機関と十分な連携ができていない状況です。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	22	併行通園しているお子様には、保育所等で行事がある場合などはそちらを優先し、保育所等での活動が充実するようお話をしています。	94%のお子様が行き通園をしている為、保育所等との交流の機会は設定していませんが、社会資源の活用で地域の方との交流を心掛けています。（武雄こども図書館など）
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	20	3	杵藤地区で開催される子ども支援部会に出席しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	18	5	送迎時など、直接お会いできる保護者様とはお子様の状況や課題についてお伝えするよう心掛けています。	保育所等への送迎などで、直接お会いできない保護者様との情報共有が十分できているとは言えない状況です。連絡帳等を活用していきたいと思えます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	16	7	他の機関が実施している研修会のご案内はしております。	現在のところペアレント・トレーニングについては積極的な支援は実施していません。職員がペアレント・トレーニングの研修を受け、実施できるよう計画していきます。
保護者への説明等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	20	3	利用開始時に重要事項説明書に基づき説明を行っております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	22	1	児童発達支援計画については、支援内容の説明を行い、保護者様より同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	20	3	送迎時にお会いした時や面談等で、保護者様からの子育ての悩み等に対して相談に応じるよう心掛けています。	全体の個人面談は、年1回しか設定していませんので、日頃相談できる体制作りをしていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	21	・療育参観や就学に関するお話し会などで、保護者様同士が顔見知りになる機会を設定しています。	父母の会、保護者会はありません。療育参観の時には、保護者様同士が話し合う機会を設定しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23	0	ご本人様や保護者様からの相談等に対しては、迅速かつ適切に対応するよう心掛けています。	

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	23	0	毎月、センター便りに写真をつけ、活動の様子を掲載しご報告しています。行事予定もその中でお知らせしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	22	1	誓約書などを作成し、個人情報の取扱いについては全職員へ周知徹底していますが、不十分な点もあります。	個々の職員が意識を高めるよう努めます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	22	1	お子様や保護者様と信頼関係を築き、意思疎通ができるよう心掛けています。	ご本人様や保護者様とお話できる機会を増やしていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11	12	地域ボランティアの方の受入は実施し、交流しています。	事業所内の行事に地域の方を招待する機会はありません。施設周辺の散歩の時などには、近くの住民の方に積極的に挨拶するようにしていきたいです。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	18	5	各マニュアルは整備し、訓練を実施しています。	各マニュアルは整備していますが、保護者様への説明・周知はとくにしていません。防犯マニュアルについては、防犯上の問題により外部への公表は控えさせていただきます。ご了承下さい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	22	1	火災避難訓練は年2回、不審者対応訓練は年1回、災害時対応訓練は年1回実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	21	2	利用契約時に、お子様の健康状態について確認しています。医療的ケアが必要なお子様については、看護師も聞き取りに同席しています。	予防接種の確認はできていません。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	20	3	保護者様より聞き取りを行い、栄養士管理の下、食物アレルギーへの対応をしています。クッキングの時は事前にアレルギーの確認をしています。	医師の指示書に基づく対応が必ずされているとは言えません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	21	2	ヒヤリハット報告書へ記載し、職員で共有しています。	ヒヤリハットの内容を引継ぎ書にも記入したほうが良い。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	23	0	全職員を対象とし、法人全体で年2回の虐待防止研修を実施しています。また、外部研修にも積極的に参加しています。倫理・虐待防止対策委員会を年4回実施し、職員には毎月日常支援の振り返りをしてもらい、意識向上を図っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	23	0	突発的な飛び出しなど危険な行動があるお子様の計画には、手をつなぐなどの制止をしますとの文言を計画書に入れ、保護者様へ説明し了解を得ています。	